

品名：LT-24WSX-F1/LT-32WSX-F1/LT-40FSX-F1
サイズ：210×297（A4） 24ページ
材質：上質紙 四六判70kg（81.4g/m）
刷色：1C（Black）

Black

LT-24WSX-F1/LT-32WSX-F1/LT-40FSX-F1

IRIS OHYAMA

LUCA

地上／BS／110度CSデジタル
液晶テレビ

室内・家庭用

型番

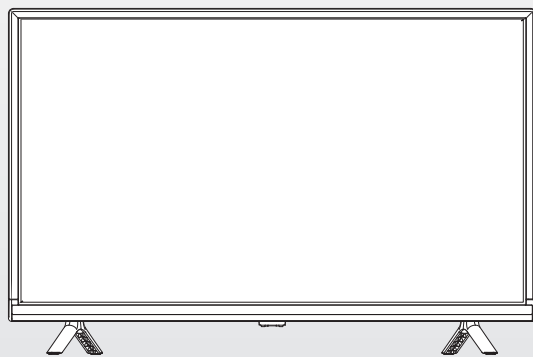
LT-24WSX-F1

LT-32WSX-F1

LT-40FSX-F1

取扱説明書

準備編



※ イラストは、特に記載のないものは
すべてLT-32WSX-F1です。

日本国内専用（FOR USE IN JAPAN ONLY）

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用の前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう、大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上の注意	5
付属品	6
各部の名称と基本操作	6

準備と使いかた

設置する	10
テレビを見る準備をする	15
テレビを見る	16
機器と接続する	17
ネットワークに接続する	19

こんなときは

故障かな？と思ったら	20
ソフトウェアの更新について	21
お手入れ	21
仕様・商標	22

本書は基本的な使いかたについて説明
しています。使いかたの詳細内容は
WEBマニュアルをご確認ください。



安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電・けがの原因になります。



ぬれ手禁止

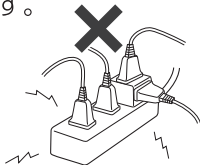
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 交流100V以外では使わない
- 海外で使わない
火災・感電の原因になります。
本製品は日本国内専用です。船舶の電源や発電機、電圧の異なる海外の電源では使用しないでください。
- 乳幼児に電源プラグを触らせない
けがや感電の原因になります
- 電源コードを束ねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。

- 電源コードを傷つけない
- 電源コードを引っ張らない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、はさみ込むなどしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない



- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときはコンセントから電源プラグを抜く
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、アイリスコールへお問い合わせください。



- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
【異常の例】
 - ・ 異常な音やにおいがする、煙が出ている
 - ・ 内部に水や異物が入った
 - ・ 本製品を落としたり、本製品の一部を破損した
 - ・ 正常に動作しない（画面が映らない、音が出ない）
 - ・ 電源コードやプラグに傷がある→ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



感電注意

- 雷が鳴りだしたら電源プラグに触れない
感電のおそれがあります。

設置について



- 不安定な場所に設置しない
落下すると、死亡や重大なけがの原因になります。
特に子どもに対する傷害は、多くの場合、以下の予防処置をすることで回避できます。
 - ・ テレビ台を使用するときは、テレビの設置面が平らで、十分に強度があり、ぐらつかないものを使用する
 - ・ テレビ台に載せるときは、テレビの脚が台からはみ出さないようにする
 - ・ 背の高い台に載せるときは、テレビと家具の両方に転倒防止処置をする
 - ・ テレビの下に、布など不安定になるものを敷かない
 - ・ テレビを操作するために台の上によじ登ると危険であることを子どもに教え、実際によじ登らないよう注意する



- 台などに設置するときは、必ず付属のスタンドを取り付ける
転倒して、重大なけがの原因になります。付属以外のスタンドなどは使用しないでください。

取り扱いについて



分解禁止

● 分解・修理・改造をしない

火災・感電・けがの原因になります。
修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。



● 内部に異物や水分を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。特にお子様のいるご家庭では注意してください。

- 通風孔から金属類や燃えやすいものを内部に差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- 本製品の上に水の入った容器や植木鉢、小さな金属類（安全ピンやヘアピンなど）を置かないでください。
- 水がかかるような場所では使用しないでください。
- ペットの体毛や糞尿が内部に入らないようにしてください。



● 通風孔をふさがない

布をかけたり、壁などに密接して、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因になります。

- 密閉したラックの中に入れないでください。
- カーペットや布団のような柔らかいものの上に置かないでください。
- 設置の際は周囲から10cm以上の間隔を空けてください。



● 乾電池の液がもれたときは素手で液に触れない

失明の原因になります。液が目に入ったときは目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、直ちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服に付いたときも、やけどやけがの原因になります。すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

使用前に



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。

取り扱いについて



● 液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えない

液晶パネルが割れてけがの原因になります。液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症などの原因になります。

万一パネル内部の液体が口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。また、目に入ったり皮膚に付着した場合は、きれいな水で最低15分以上洗浄した後、医師の診察を受けてください。



プラグを抜く

● 長期間使わないときは、電源プラグを抜く

絶縁低下による漏電により、火災・感電の原因になります。



● 湿気・ほこり・油煙・湯気の多い場所、直射日光の当たる場所では使用しない

火災や感電の原因になります。



● 梱包用の袋や小さな部品を乳幼児の手が届くところに置かない

袋をかぶったり、小さな部品を誤って飲み込んだりすると、窒息の原因になります。

壁掛けで使用するとき



● 壁掛け金具の取り付けは、必ず専門の業者に依頼する

専門の業者以外が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だった場合、本製品が落下して、大けがの原因になります。

● 垂直な面に、取り付け角度 0° で設置する

本体を傾けて設置したり、傾斜した壁面へ設置したりすると、落下してけがや床などが損傷するおそれがあります。



壁



壁



壁

安全上の注意 つづき

リモコンの電池についての注意



- 電池を入れるときは、極性表示（プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向き）に注意し、説明書の通りに正しく入れる
間違えると、破裂・液もれにより、火災・けが、周囲を汚損する原因になります。

- 長期間使用しないときは電池を取り出しておく
液がもれて、火災・けが・周囲の汚損の原因になります。
液がもれた場合は、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。万一、もれた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。



- 金属製の小物類と一緒に携帯・保管しない
ショートして液もれや破裂の原因になることがあります。

- 指定以外の電池は使用しない
過熱・破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になることがあります。

- 乾電池は絶対に充電しない
破裂・液もれにより、火災・けが・やけどの原因になります。
※充電式電池を除く。



分解禁止

- 分解しない
皮膚や衣服を損傷することがあります。

使用上の注意

● miniB-CASカードについて

- ・ 付属のminiB-CASカードは、デジタル放送を視聴していただくために、お客様に貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合は、直ちにB-CASカスタマーセンターへご連絡ください。(→P13)
お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。

● 本書の表記と内容について

- ・ 本製品の仕様および機能などは、ファームウェアの更新などにより予告なく変更されることがあります。
- ・ 本書に記載されている本体や画面などのイラストは、実際とは異なる場合があります。実際に表示される画面で確認してください。

● 液晶パネルについて

- ・ 液晶パネルには、画面の一部に欠点(黒い点)や輝点(余計に光る点)が存在する場合があります。これは故障ではありませんのでご了承ください。
- ・ 液晶の特性により、室温が低い場合は、画像がぼやけたり、動きがスムーズに見えないことがあります。故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- ・ 液晶パネルはバックライトが発光することにより画像を表示していますが、バックライトには寿命があります。常温での使用時に画像が暗くなるようになったら、アイリスコールへご相談ください。

● 本製品の温度について

- ・ 本製品は、長時間使用したときなどに、パネル表面や上部が熱くなる場合がありますが、故障ではありません。また、熱で変形しやすいものを上に置かないでください。

● 輸送・設置について

- ・ 本体を横倒しにして輸送した場合、パネルガラスの破損や欠点の増加のおそれがありますので、横倒しで輸送しないでください。
- ・ 本棚などの通気の悪い場所に設置するときは、本体と周囲との間に十分なスペースを空けてください。

● 地上／BS／110度CSデジタル

- ・ 本製品は以下のデジタル放送を受信できます。
地上デジタル放送
BSデジタル放送
110度CSデジタル放送
電子番組表 (EPG) で視聴番組を選んだり録画予約をすることもできます。

● アンテナについて

- ・ 地上デジタル放送を受信するには、全帯域型または地上デジタル放送対応型のUHFアンテナが必要です。(→P11)
- ・ BS・110度CSデジタル放送を受信するには、BS・110度CSデジタル用アンテナが必要です。(→P11)
- ・ ケーブルテレビまたは共聴・集合住宅施設でデジタル放送を受信する場合は、ケーブル事業者または共聴施設管理者にお問い合わせください。

● 廃棄するときは

- ・ 本製品は家電リサイクル法の対象製品です。家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの液晶テレビを廃棄される場合は、収集運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。
- ・ 本製品を廃棄するときは、個人情報の消去をしてください。

テレビをご覧になっている状態から、リモコンの^{設定}  > [初期設定] > [設定の初期化] > [はい]を選んでリモコンの  を押す。

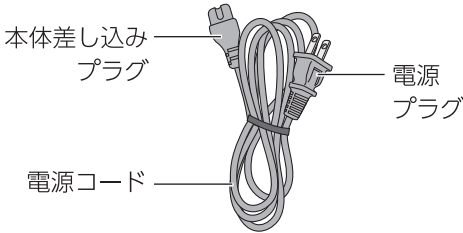
- ・ データ放送の個人情報(住所・氏名・視聴ポイント数など)についても初期化されます。初期化すると初期化前の状態に戻すことはできないのでご注意ください。

付属品

リモコン×1個
単4形乾電池×2個（リモコン用）



電源コード×1本
（電源コードはLT-40FSX-F1にのみ
付属しています。）

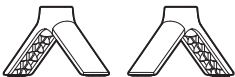


取扱説明書（本書）×1部



保証書×1部

スタンド×2個



スタンド固定用ねじ×4

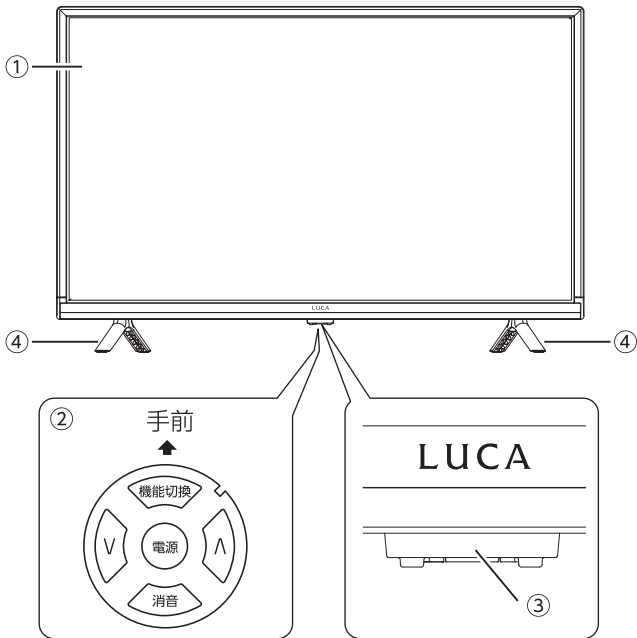
（タッピンねじ
LT-24WSX-F1：ST4×16mm×4本
LT-32WSX-F1、LT-40FSX-F1：ST4×18mm×4本）

miniB-CASカード×1枚



各部の名称と基本操作

本体前面



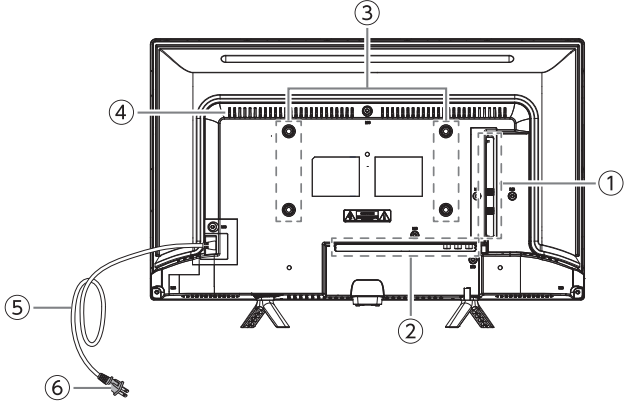
- ① 液晶パネル
- ② 本体操作部（底面）
電源／マルチボタン
電源：電源を切/入します。
機能切換：機能を切り換えます。
消音：音を消します。
V / A：選択時に使用します。
- ③ 電源ランプ／リモコン受光部
電源ランプ
緑：入、赤：スタンバイモード
- ④ スタンド

各部の名称と基本操作

つづき

本体背面

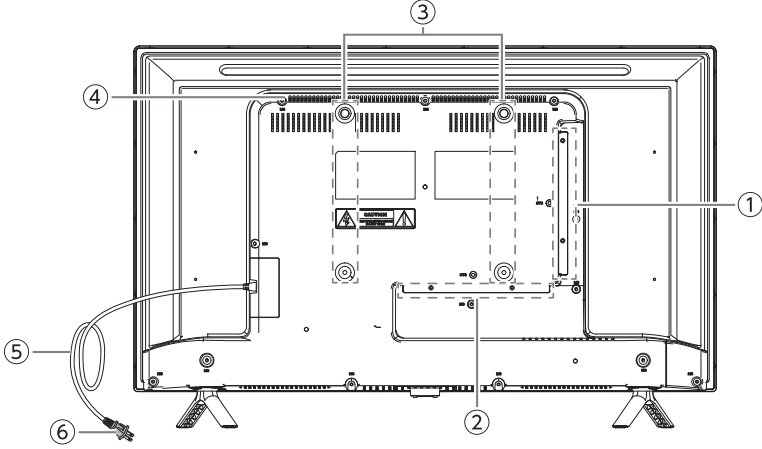
LT-24WSX-F1



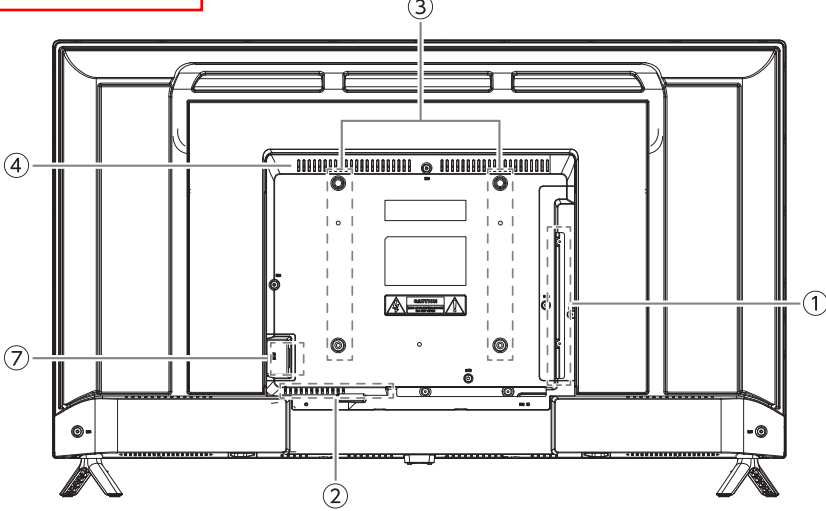
- ① 入出力端子（本体正面から見て左側面）
- ② 入出力端子（背面）
- ③ 壁掛け用ねじ穴（4か所）
※壁掛け金具を取り付ける場合は、テレビ本体に取り付けてあるねじを使用しないでください。必ず壁掛け金具側で指定されているねじをご使用ください。
- ④ 通風孔
- ⑤ 電源コード
- ⑥ 電源プラグ
- ⑦ 電源接続部（LT-40FSX-F1のみ）



LT-32WSX-F1



LT-40FSX-F1



壁掛けで使用する場合

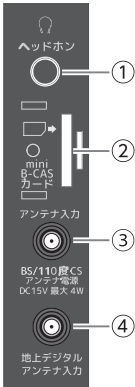
取り付けの詳細（ねじ穴寸法など）については、WEBマニュアルをご確認ください。



各部の名称と基本操作 つづき

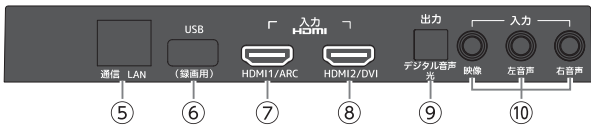
接続パネル

接続パネル（左側面）



- ① ヘッドホン端子（3.5mmステレオミニジャック）
ヘッドホンなど3.5mmステレオミニプラグのある機器を接続して音声を楽しめます。
- ② miniB-CASカード挿入口
- ③ BS・110度CSアンテナ入力端子
BS・110度CSデジタル放送を受信するためのアンテナケーブルを接続する端子です。
- ④ 地上デジタルアンテナ入力端子
地上デジタル放送を受信するためのアンテナケーブルを接続する端子です。

接続パネル（背面）



- ⑤ LAN端子
ルーターに接続したLANケーブルとつなぎ、テレビをネットワークに接続します。
- ⑥ USB端子（録画用）
外付けUSBハードディスクと接続してデジタル放送を録画できます。
- ⑦ HDMI 1入力端子（ARC対応）
ARCに対応した機器をHDMIケーブルで接続するときに使用する端子です。通常のHDMI機器も接続できます。
- ⑧ HDMI 2入力端子（DVI対応）
DVIに対応した機器をHDMIケーブルで接続するときに使用する端子です。通常のHDMI機器も接続できます。
- ⑨ 光デジタル音声出力端子
AVアンプやデジタルレコーダーなどの光デジタル音声入力端子のある機器に接続して音声を楽しめます。
- ⑩ ビデオ入力端子
ゲーム機・ビデオカメラなどビデオ出力端子を持つ機器と接続するときに使用する端子です。

リモコン

消音：消音ボタン

音声を一時的に消します。
もう一度押すと消音を解除します。

地デジ BS CS：放送選択ボタン

受信する放送を選びます。

**サブメニュー**ボタン

様々な便利機能の設定を行うときに使用します。

**設定**ボタン

設定メニューを表示します。

**戻る**ボタン

1つ前の操作に戻ります。

**終了**ボタン

操作を終了するときに押します。

**上 下 左 右** ボタン

操作画面・番組表・設定などで項目を移動します。

**決定**ボタン

上 下 左 右 ボタンで選んだ項目を決定します。

**dデータ**：dデータボタン

データ放送を表示します。

**字幕**：字幕ボタン

字幕を切り換えます。

**音声切替**：音声切替ボタン

2か国語／ステレオなど音声を切り換えます。

**電源**ボタン

テレビの電源を入／スタンバイモードにします。

**1 ~ 12**：数字ボタン

視聴するチャンネルの選択や
英数字・記号などの入力にも使います。

番組表：番組表ボタン

番組表をテレビ画面に表示します。

**音量 + / -** ボタン

音量を調節します。

入力切替：入力切替ボタン

テレビや接続した機器など、視聴する入力を
切り換えます。

画面表示：画面表示ボタン

現在受信している番組の情報を表示します。

3桁/番号：3桁/番号入力ボタン

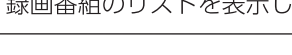
3桁の数字でチャンネルを選局します。

**チャンネル**ボタン

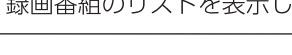
チャンネルを順に切り換えます。

**青 赤 緑 黄**：カラーボタン

各色のボタンに対応する機能を選択できま
す。様々な機能ボタンとして使用します。
機能は画面に表示されます。

**録画／再生機能ボタン**

外付けUSBハードディスクを接続して
番組を録画や再生するときに使用します。



設置する

リモコンの準備

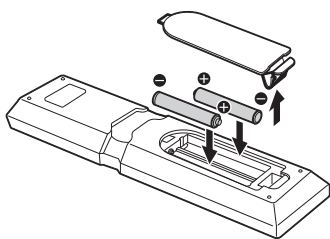


注意

- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わないでください。電気が逆流して火災やけがの原因になります。
- 乾電池の入れかたが正しくないと、火災の原因になります。
- 充電・加熱・分解したり、ショートさせたりしないでください。
- 絶対に火の中に入れてください。
- 直射日光の当たる場所に置かないでください。

電池の入れかた

- 1 電池カバーを開ける
- 2 単4形乾電池を指定の向きに入れる（2個）
- 3 電池カバーを閉じる

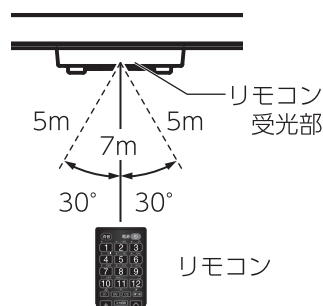


！ お願い

- 乾電池の廃棄は、自治体の条例またはお住まいの地域の規則にしたがってください。
- 長期間リモコンを使用しない場合は、乾電池を取り外してください。

リモコンで操作できる範囲

リモコンの赤外線発光部を本体のリモコン受光部に向けて、直線：約7m以内、左右30°：約5mの範囲で操作できます。



ポイント

● リモコン操作のコツ

リモコン受光部の正面から操作する。
リモコンと本体のリモコン受光部の間にものを置かない。

スタンドの取り付けかた

ご使用の前に、スタンドを取り付けてください。

本体にスタンドを取り付ける際は、下記の図を参照して正しく取り付けてください。



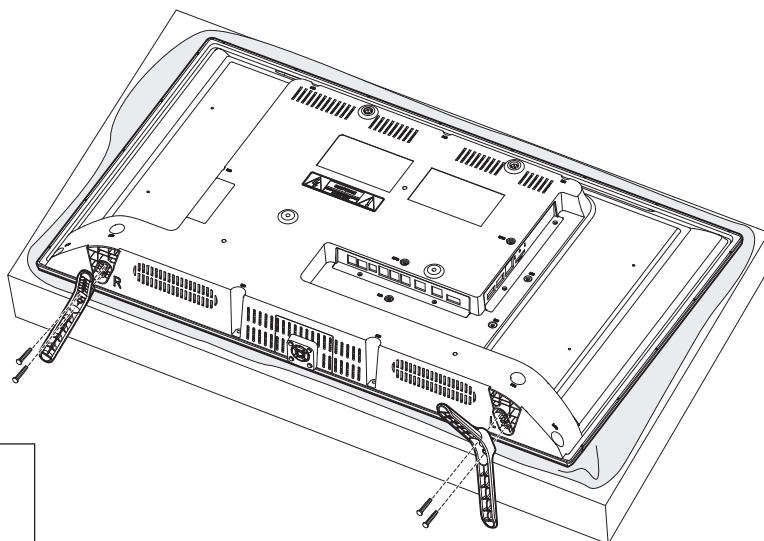
注意

- 必ず転倒防止対策をする
- 画面を強く握らない
画面を強く握ると、液晶パネルが割れるおそれがあります。
- 液晶パネルを傷つけないよう取り扱いに注意する

！ お願い

- インパクトドライバーは使用しないでください。
- ねじで固定する際に本体が動かないよう、本体を軽く押さえてください。
- ねじは最後までしっかりしめてください。

- 1 毛布などを敷いた台の上に液晶パネルを下向きにしてテレビを置く
- 2 テレビ底面のスタンド取付位置（凹部）に、向きを合わせてスタンドを置き、付属のスタンド固定用ねじ（各2本）で固定する



壁掛けで使用する場合

取り付けの詳細は、WEBマニュアルをご確認ください。



アンテナの接続

！ お願い

- アンテナを接続する前に、必ず本製品および接続している機器の電源を切り、電源プラグを抜いてください。
- アンテナ工事には専門知識が必要です。アンテナの設置や調整については、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。
- 一部のアンテナプラグは、形状によってはアンテナ端子への挿入が困難なものがあります。
- 信号の受信レベルは、天候の影響などにより変動します。アンテナを設置するときは、アンテナレベルを確認し、アンテナの調整、ブースターの追加などを行ってください。
- ケーブルテレビやインターネット配信などで地上デジタル放送を視聴するには、ケーブルテレビ会社やインターネット配信の会社の説明にしたがってください。
- すでに設置してあるアンテナを使用する場合は、使用する場所やアンテナの設置状況によって、取り換えや調整、ブースターの設置などが必要になることがあります。
- アンテナや、接続に必要なアンテナ線（同軸ケーブル）は付属していません。使用するアンテナの種類や使用環境条件に合わせて、適切なケーブルを使用してください。

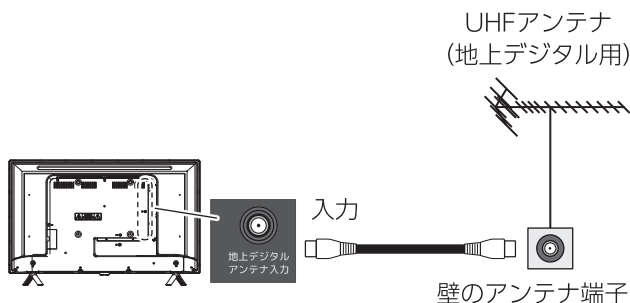
接続イラスト内のケーブルについて

市販のアンテナ線（同軸ケーブル）

市販のアンテナ線（BS・110度CS対応同軸ケーブル）

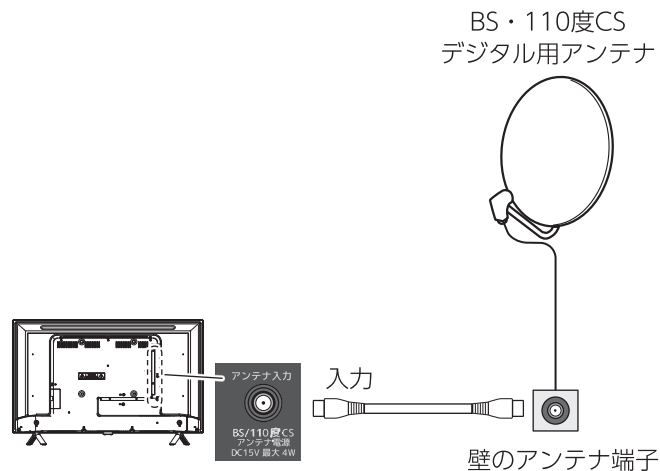
地上デジタル放送

地上デジタル放送を受信するには、地上デジタル放送対応型のUHFアンテナが必要です。



BS・110度CSデジタル放送

BSデジタル放送だけを受信する場合は「BSデジタル用アンテナ」を、110度CSデジタル放送だけを受信する場合は「110度CSデジタル用アンテナ」が必要です。



準備と使いかた

- ・ 両方のアンテナを使用する場合は、混合器を使用して1本のケーブルにまとめてからテレビに接続してください。
- ・ 本製品とBSデジタル用アンテナ・110度CSデジタル用アンテナの接続には、BS・110度CSデジタル対応のケーブルを使用してください。
- ・ 110度CSデジタル放送を受信して、ブースターやBS・110度CS用分波器を使用する場合は、110度CSデジタル放送（周波数2,150MHz）に対応した機器を使用してください。対応していない機器を使用した場合は、110度CSデジタル放送を受信できません。

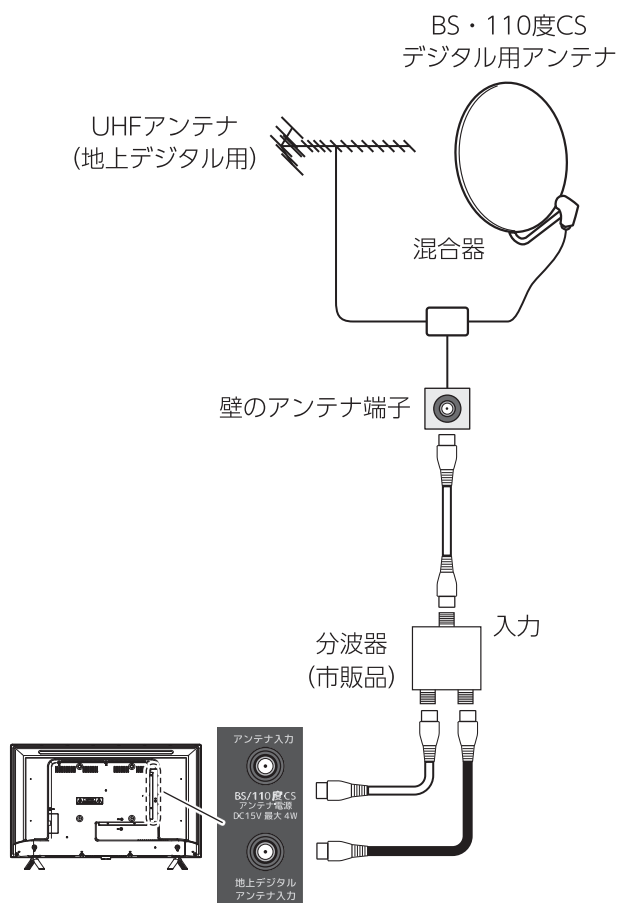
- BS・110度CSデジタル用アンテナには、必要に応じて、本製品のアンテナ端子から電源を供給できます。アンテナへの電源供給の設定については、「設定」→「初期設定」→「アンテナ設定」→「BS・110度CSアンテナ電源供給」で設定してください。※デフォルトは「供給する」に設定されています。マンションなどで、他の機器からアンテナに電源が供給されているときは、「供給しない」に設定してください。

設置する つづき

アンテナの接続

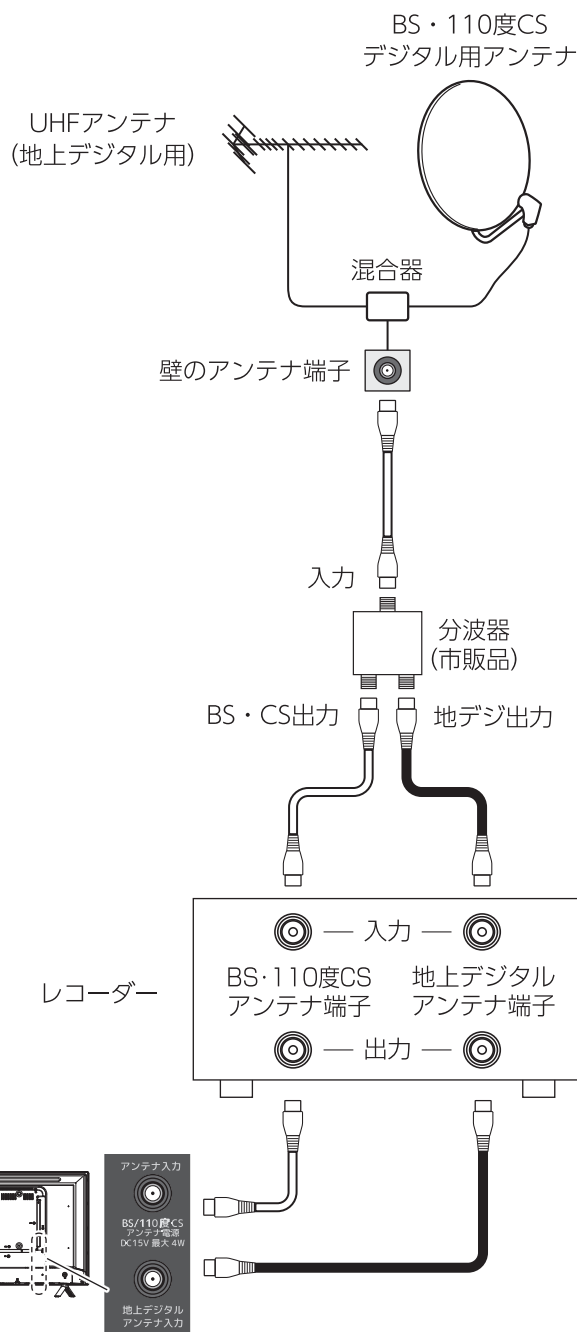
地上デジタル用アンテナとBS・110度CSデジタル用アンテナが、1本のケーブル（または1個の壁のアンテナ端子）にまとめてある場合

地上デジタル用アンテナと、BS・110度CSデジタル用アンテナが、混合器を使用して1本のケーブル（1個の壁のアンテナ端子）にまとめてある場合は、分波器で2本のケーブルに分け、本製品の地上デジタル用アンテナ端子とBS・110度CSデジタル用アンテナ端子に接続してください。



- テレビからアンテナへ電流を供給する場合があるため、必ず全方向電流通過型の分波器を使用してください。
- 将来110度CSデジタル放送でチャンネルが増えた場合、ご使用中のアンテナによっては、分波器が使用できないことがあります。
- BS・110度CS機器を接続するときは、機器の取扱説明書をご覧ください。

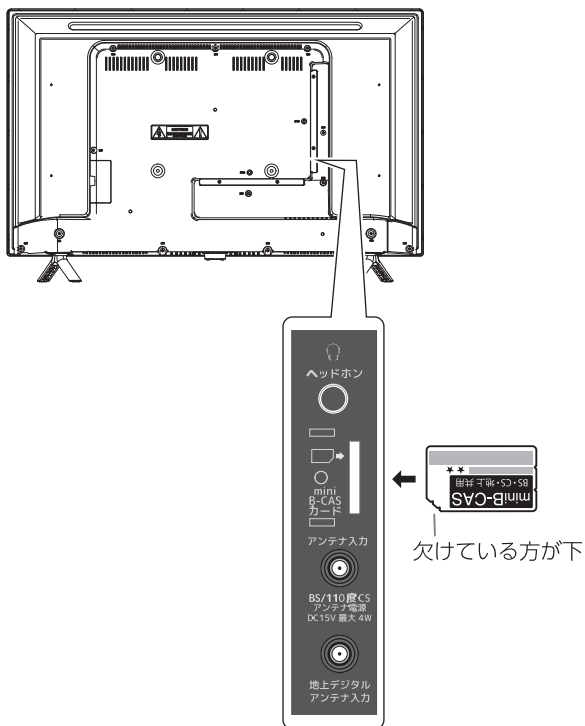
BS・110度CSデジタル用アンテナを、テレビとレコーダーに接続する場合



miniB-CASカードを入れる

- デジタル放送を視聴するには、B-CASカードが必要です。本製品にはminiB-CASカードが付属しています。
 - miniB-CASカードは、下図の向きで差し込んでください。
- ※ miniB-CASカードの金色の端子部分が汚れると、デジタル放送を受信できなくなることがあります。金色の端子部分に触れないでください。

- 1 miniB-CASカードを角が欠けた方を下にして、miniB-CASカード挿入口に差し込む
- 2 カチッと音がするまで押し込む



B-CASカードのお問い合わせについて

B-CAS カスタマーセンター (10:00 ~ 20:00 年中無休)
電話：0570-000-261 IP電話からは：045-680-2868

電源の接続

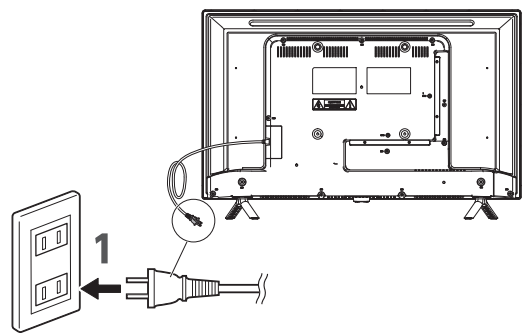


注意

- 電源プラグは、すぐに抜くことができるように、手の届く位置のコンセントに接続してください。
- 付属以外の電源コードを使用しないでください。
- 付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。

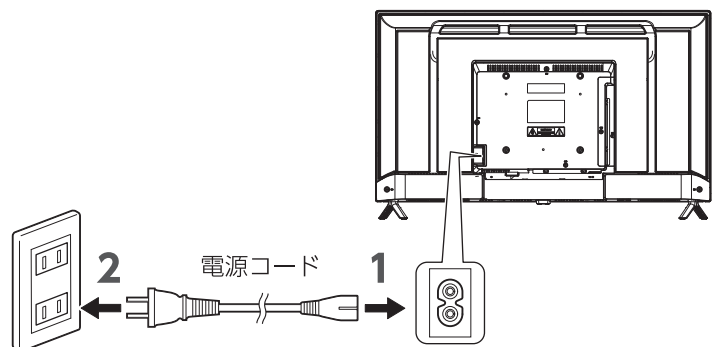
【LT-24WSX-F1 / LT-32WSX-F1】

- 1 電源プラグをコンセントに差し込む



【LT-40FSX-F1】

- 1 電源コードの本体差し込みプラグを本体背面の電源コード差込口に差し込む
- 2 電源プラグをコンセントに差し込む

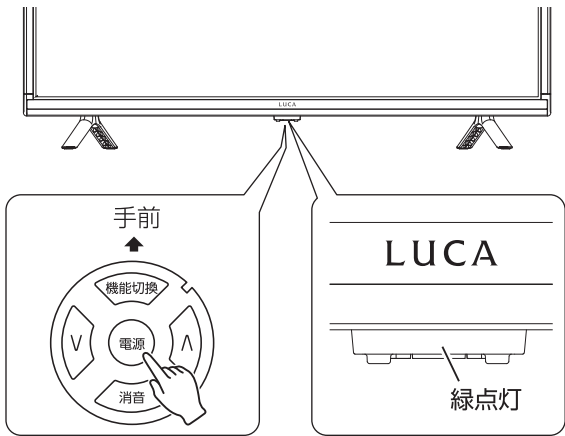


設置する つづき

電源を入れる

【電源ランプが消灯しているとき】

- 1 本体底面の本体操作部の電源ボタンを押す
電源が「入」になり、電源ランプが「緑」に点灯します。

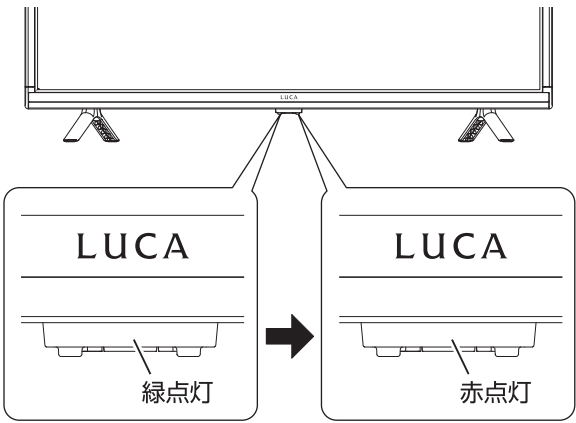


電源をスタンバイモードにする／切る

【電源をスタンバイモードにする】

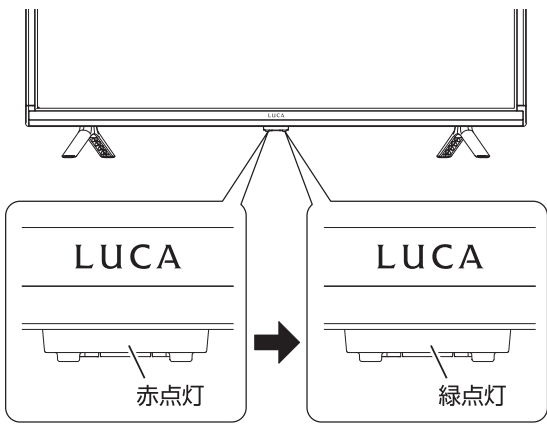
- 1 電源ランプが「緑」に点灯しているときにリモコンの  を押す

電源がスタンバイモード（リモコン操作待ち受け状態）になり、電源ランプが「赤」に点灯します。



【電源ランプが「赤」に点灯しているとき】

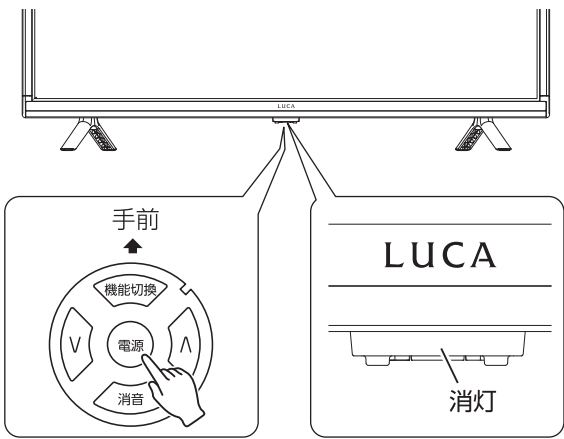
- 1 リモコンの  を押す
電源が「入」になり、電源ランプが「緑」に点灯します。



【電源を切る】

- 1 電源ランプが「赤」または「緑」に点灯しているときに、本体底面の本体操作部の電源ボタンを押す

電源が「切」になり、電源ランプが消灯します。
※リモコンでの操作ができなくなります。



テレビを見る準備をする

はじめての設定をする

お買い上げ後、miniB-CASカードを入れてはじめて電源を入れたときは、「はじめての設定」をリモコンで行い、お住まいの地域に適したチャンネルを設定してください。

※「はじめての設定」を完了しないと、入力切換画面が出ません。

※ miniB-CASカードが正しく挿入されていないと「はじめての設定」ができません。

※「電波の状態が良くありません。」の表示がされた場合は、受信状況が良くなってから「はじめての設定」をやり直してください。

1 リモコンの電源ボタンまたは本体底面の電源ボタンを押して電源を入れる

- ・「はじめての設定」の画面が表示されます。

2 を押して、「はじめての設定」に進む

3 画面の表示にしたがって設定を行う

- ・本製品を使用するのに必要な設定を下記の順に行います。
△▽ 上下左右のボタンが使えます。
郵便番号設定をするときは **1** ～ **12** を使用します。
①地上デジタルチャンネル設定
②郵便番号設定
③映像モード設定



ポイント

地上デジタルチャンネル設定について

- ・「はじめての設定」または「初期スキャン」を行うと、本製品が地上デジタル放送の受信可能なチャンネルを探し、リモコンの **1** ～ **12** に自動で設定します。（「はじめての設定」または「初期スキャン」を行わないと、地上デジタル放送は受信できません。）

地方と地域の設定について

- ・チャンネルの自動設定は、「はじめての設定」で選んだ地域に基づいて行われますが、チャンネル設定の地域がお住まいの地域と異なる場合がありますので、郵便番号を設定してください。

はじめての設定をやり直しする

「はじめての設定」をしてもアンテナ接続の不具合などで地上デジタル放送が映らない場合は、不具合の対処をした後で「はじめての設定」をやり直すことができます。

1 を押して、「初期設定」→「はじめての設定」に進む

- ・「はじめての設定」の画面が表示されます。

2 画面の表示にしたがって設定を行う

- ・ワンタッチ選局ボタンのチャンネルを手動で設定したあとで「はじめての設定」をやり直すと、手動で設定した内容は消去されます。その場合は、再度手動で設定してください。
- ・県外への転居などで「はじめての設定」をやり直すと、データ放送用メモリーの割当画面が表示されることがあります。その際は、「データ放送用メモリーの割当画面が表示されたら」を参照して設定してください。
- ・データ放送を視聴中に「はじめての設定」をやり直すと、放送によっては設定終了後に設定内容が反映されないことがあります。その際は、設定終了後にデータ放送を再度選局してください。

詳細は、WEBマニュアルをご確認ください。



テレビを見る

テレビを見る

- 1 **地デジ** **BS** **CS** で放送波を選ぶ
- 2 視聴するチャンネルを選ぶ
 - リモコンの数字ボタンで選ぶ
1 ~ **12** で設定されたチャンネルを選ぶことができます。
 - チャンネルボタンで選ぶ
 で設定されたチャンネルが順番に切り換わります。
 - 3桁のチャンネル番号で選ぶ
3桁/番号 を押して、チャンネル番号を入力します。
チャンネル番号は **番組表** で確認できます。

音量を調節する

- 音量を調節する
リモコンの  を押す
- 音声を一時的に消す
リモコンの **消音** を押す
※もう一度 **消音** を押すか、リモコンの  を操作すると
消音は解除されます。

外部入力に切り換える

- 1 リモコンの **入力切換** を押す
- 2 **へ** **へ** で外部入力を選び、**決定** を押す
※ **入力切換** を何度か押すことでも切り換えられます。

詳しい使いかたは、
WEBマニュアルをご確認ください。



！ お願い

- 番組を録画するには、あらかじめ録画用ハードディスクを登録してください。 →P17

視聴中の番組を録画する

- 1 番組を視聴中に **番組表** を押す
- 2 録画する番組を **へ** **へ** **く** **く** で選び、**決定** を押す
- 3 **へ** **へ** **く** **く** で「録画する」を選び、**決定** を押す

録画を中止するには

- 1 **終了** または  を押す
- 2 「録画中止」の画面で、**く** **く** で「はい」を選んで、**決定** を押す

※ 録画予約している番組と同じ時間帯の番組は同時に録画できません。

録画予約する

- 1 リモコンの **番組表** を押し、番組表を表示させる
- 2 **へ** **へ** **く** **く** と **決定** で録画する番組を選ぶ
- 3 [視聴予約][録画予約][連ドラ予約]のいずれかを選び、**決定** を押す

録画した番組を見る

- 1 リモコンの  を押す(録画リストが表示)
- 2 見たい番組を選び、**決定** を押す

録画した番組を削除する

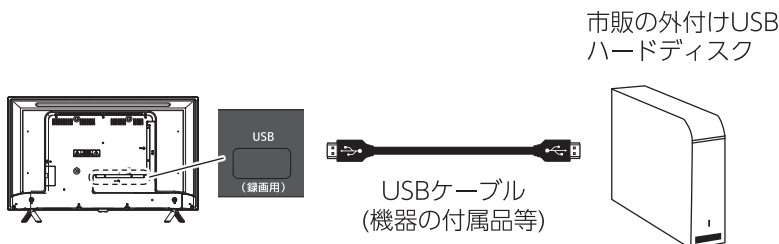
- 1 リモコンの  を押す(録画リストが表示)
- 2 削除したい番組を選び、 を押す

機器と接続する

録画用ハードディスクの接続／取り外し

市販の外付けUSBハードディスクを接続して登録すると、番組を録画・再生できます。
※データ放送、外部入力 (HDMI1 ～ 2、ビデオ入力) で視聴している映像・音声は録画できません。

1 ケーブルをUSB端子 (録画用) に接続する



2 テレビの電源を入れて [はい] を選び、**決定** を押す

3 画面にしたがって登録する

- ① [はい] を選び、**決定** を押す
- ②初期化の確認画面で [はい] を選び、**決定** を押す
- ③登録名を変更する場合は [はい] を選び、**決定** を押す
変更しないときは [いいえ] を選んでください。
- ④録画機器に設定する場合は [はい] を選び、**決定** を押す
録画機器の設定は、録画や予約の際に変更できます。
- ⑤表示される注意事項などを確認し、**決定** を押す
- ⑥登録内容を確認し、**終了** を押して登録完了

4 ハードディスクの設定をする

- ・リモコンの **設定** を押して、[外部機器設定] → [USBハードディスク設定] に進み、設定する項目を選んで設定してください。

ポイント

- ACアダプターで動作するハードディスクは、必ずハードディスクに付属のACアダプターを使用してください。
- USBハブを使用すると8台まで登録することができます。ただし、USBハブは同時に複数台使用できません。また、同時に接続できるハードディスクは4台までです。

注意

- 本製品以外で使用していた外付けUSBハードディスクを本製品に接続して登録すると、それまでに保存されていたデータはすべて消去されます。また、本製品で使用していた外付けUSBハードディスクをパソコンなどで使用する際には初期化を行う必要があり、本製品で録画したデータはすべて消去されます。
- 外付けUSBハードディスクの動作中は、ハードディスクの電源を切ったり、USBケーブルを抜いたりしないでください。保存した内容が消えたり、ハードディスクが故障したりする原因になります。

準備と使いかた

録画用ハードディスクの取り外し

1 リモコンの **設定** を押して、[外部機器設定] → [USBハードディスク設定] に進む

2 取り外すハードディスクを選び、**決定** を押す

3 確認画面で [はい] を選び、**決定** を押す

4 「USBハードディスクが取りはずしできます。」と表示されたら、ハードディスクを取り外し、**決定** を押す

注意

- 「USBハードディスクが取りはずしできます。」が表示される前に取り外さないでください。保存した内容が消えたり、ハードディスクが故障したりする原因になります。

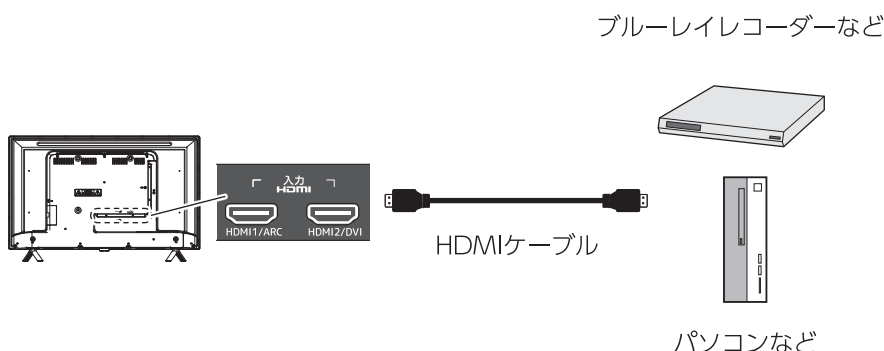
詳細は、WEBマニュアルをご確認ください。



機器と接続する つづき

ブルーレイレコーダーやパソコンをHDMIに接続する場合

デジタル信号のまま映像と音声を入力できます。HDMI出力端子のある機器と、HDMIケーブルで接続してください。接続する機器の取扱説明書をご確認の上、接続してください。

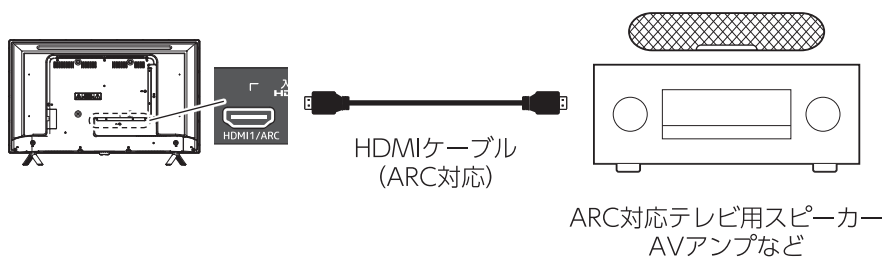


ポイント

- ACアダプターで動作するハードディスクは、必ずハードディスクに付属のACアダプターを使用してください。

ARC対応した機器をHDMI (ARC) に接続する場合

ARC対応のHDMI端子を備えたテレビ用スピーカーやAVアンプなどに音声を出力する場合は、本製品のHDMI1 (ARC対応) 入力端子と、外部機器のARC対応HDMI端子を、ARC対応のHDMIケーブルで接続してください。

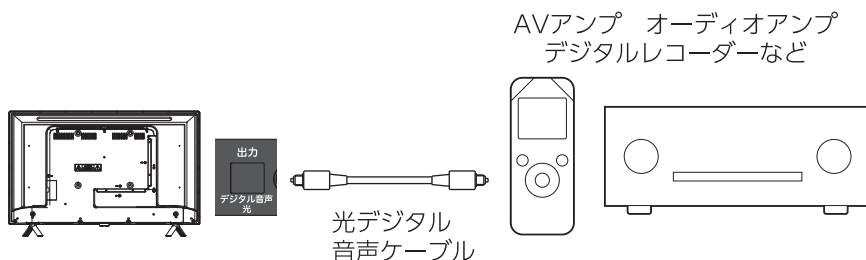


ポイント

- 接続した機器の音量は、テレビのリモコンで操作できるようになります。接続した機器によっては対応していない場合があります。
- 外部スピーカーへの接続設定はリモコンのサブメニューボタンを押して、「設定」→「音声設定」→「ヘッドホン/音声出力設定」→「出力設定」で設定してください。

AVアンプなどを光デジタル音声出力端子に接続する場合

外部機器の光デジタル音声入力端子と本製品の光デジタル音声出力端子を、光デジタル音声ケーブルで接続してください。



ポイント

- 外部スピーカーへの接続設定はリモコンのサブメニューボタンを押して、「設定」→「音声設定」→「ヘッドホン/音声出力設定」→「出力設定」で設定してください。
- 再生する音量は接続した機器で調節してください。
- 番組によっては、デジタル音声が出力できない場合があります。

ネットワークに接続する

テレビをインターネットに接続するためには、あらかじめインターネットを使用できる環境が必要です。インターネット接続環境について詳しくは、ご利用の通信事業者やプロバイダーにお問い合わせください。ネットワークに接続すると、データ放送の双方向サービスを楽しむことができます。データ放送の双方向サービスでは、クイズ番組に参加したり、ショッピング番組で買物をしたりすることができます。※本製品は電話回線を利用した双方向サービスには対応していません。

インターネットを利用するための接続と設定

本製品背面のLAN端子と、ネットワークにつながったルーターなどのLANポートを、LANケーブルで接続します。

1 LANケーブルを接続する



2 リモコンの **設定** を押して、[初期設定] → [通信設定] に進む

- ・各種設定項目が表示されます。

3 各種項目を必要に応じて設定する

設定の詳細は、WEBマニュアルをご確認ください。



ポイント

- 購入時の設定でインターネットが利用できない場合や、ネットワーク設定をやり直す際に、必要に応じて設定を行ってください。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みの上、以下の点をご確認ください。

まずはじめにご確認ください

電源が入らない場合

- 電源プラグはコンセントに確実に接続されていますか？

リモコン操作ができない場合

- リモコンの乾電池は正しい極性（⊕ ⊖）で入っていますか？
- リモコンの乾電池が消耗していませんか？（消耗している場合は交換が必要）
- テレビのリモコン受光部に向けて操作していますか？
- リモコン受光部に直射日光や照明の強い光などが当たっていませんか？
- テレビの電源は「入」になっていますか？
電源ランプが点灯していないときはリモコンでの操作できません。

映像や音声が出ない場合

- 電源プラグやアンテナ線、外部接続機器が確実に接続されていますか？
- テレビや外部接続機器の電源は入っていますか？
- 入力切換は合っていますか？
- 音量は最小になっていませんか？ [消音] になっていませんか？
- ヘッドホンが接続されていませんか？

こんなときは異常ではありません

画面上に、赤や青、緑に点灯したままの点や点灯しない黒い点がある

液晶パネルには、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素が存在する場合があります。

内部から「カチッ」という音がする

待機状態で番組情報取得などの動作時に、内部から「カチッ」という音が聞こえることがあります。

キャビネットから「ピシッ」という音がする

部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生します。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。

詳細な取り扱い方法については、WEBマニュアルをご確認ください。



それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

●ご自分で分解・修理・改造をしないでください。

ソフトウェアの更新について

商品をより快適にご使用いただくために、ソフトウェアの更新を行うことがあります。

- 更新用のソフトウェアは、放送電波で送られてきます。本製品は、放送電波で送られてくる更新用のソフトウェアを自動的にダウンロード・更新する機能を備えています。
- ソフトウェアの更新中は、電源プラグを抜かないでください。更新が正常に行われず、起動しなくなるおそれがあります。

設定の変更やバージョンを確認したいなど、詳しい使いかたは、WEBマニュアルをご確認ください。



お手入れ

- 乾いた布で拭いてください。
- ※ 汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取った後に乾いた布でから拭きしてください。

❗ お願い

- お手入れの際は、必ず本製品および接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ベンジンやシンナーは使わないでください。化学ぞうきんの使用は、注意書きにしたがってください。
- 殺虫剤や揮発性のあるものをかけないでください。
- ゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長期間接触させないでください。
- 液晶パネルの保護のため、パネルにかたいものやとがったものを当てたり、強く押したりこすったりしないでください。傷・変色の原因になります。
- 液晶パネルの表面に、結露による水滴など液体が付着した状態で使用しないでください。色むら・変色の原因になります。

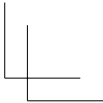
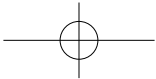
仕様・商標

品番		LT-40FSX-F1	LT-32WSX-F1	LT-24WSX-F1
画面サイズ		40V型 (幅878.1×高さ485.3mm)	32V型 (幅697.7×高さ392.3mm)	24V型 (幅521.5×高さ293.2mm)
本体	寸法 (スタンド 取り付け時)	幅904.3×奥行180.1×高さ563mm	幅732.5×奥行180.2×高さ480.2mm	幅552.9×奥行144.1×高さ369.7mm
画素数 (水平×垂直)		1920×1080	1366×768	
チューナー数		地上デジタル×2 / BS・CSデジタル×2		
スピーカー	チャンネル	2チャンネル		
	音声出力	8W + 8W	5W + 5W	3W + 3W
入出力 端子	アンテナ端子	地上デジタル×1 / BS・110度CSデジタル×1		
	ビデオ端子	RCAピンジャック×3		
	HDMI端子	HDMI×2 (HDMI1、HDMI2)		
	ARC対応端子	HDMI1		
	HDMI対応入力 解像度	480i、480p、720p、1080i、1080p、VGA、SVGA、XGA、WXGA、SXGA		
	音声出力	3.5mmステレオミニジャック×1		
		光デジタル音声出力×1		
	LAN	LANポート×1		
USB	USB2.0 端子 (録画用) ×1			
録画機能 ※ハードディスク (別売) がないと できません。		録画予約可能		
使用環境		温度：5～40℃／湿度：80% RH (結露なきこと)		
壁掛け金具 (別売) ねじ穴 寸法		200×200mm ねじ：M6×16mm ×2、 M6×10mm ×2	200×200mm ねじ：M6×14mm ×2、 M6×10mm ×2	200×100mm ねじ：M4×12mm ×4
付属品		リモコン×1、リモコン用単4形乾電池×2、スタンド×2、スタンド固定用ねじ×4、 電源コード×1 (LT-40FSX-F1のみ)、miniB-CASカード×1、取扱説明書 (本書)、保証書		

リモコン

型番	LT-ARC15
電源	DC3V (単4形乾電池×2)
質量	約75g (乾電池含まず)
受光範囲	直線：約7m以内、左右30°：約5m

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。
※ このテレビは日本国内専用です。海外では使用できません。



動作確認済み外付けUSBハードディスクについて

動作確認済み外付けUSBハードディスクは、次のアイリスオーヤマサポートページをご覧ください。
URL：https://www.irisohyama.co.jp/support/faq/products/tv/hdd_compatible.html



ライセンス・商標などについて

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。



その他、取扱説明書に記載されている社名・商品・サービス名などは、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。

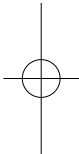
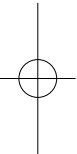
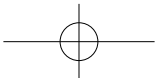
その他、詳細については、WEBマニュアルをご確認ください。



こんなときは

長年ご使用の液晶テレビの点検を！			
愛情点検	こんな症状はありませんか	● 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする ● 本体に触れるとビリビリ電気をを感じる ● 電源を入れても、画像や音が出ないことがある ● 電源を切っても、画像や音が消えないことがある ● 内部に水や異物が入った	
			故障や事故防止のため、電源を切って、コンセントから電源プラグを抜き、必ず販売店に点検を依頼してください。

ご使用
中止



Black

LT-24WSX-F1/LT-32WSX-F1/LT-40FSX-F1

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ(通話料無料)

アイリスコール 0800-919-0770

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。

お客様サポート

24時間365日

Web即時回答サービス



181224-CKJ-CKJ-01